

学校経営のポイント

教育再生会議の“第3次報告”

若井 彌一

“生きてまた 元旦の朝 空仰ぐ ベスト尽くさ
む 子の一年も”

あけまして、おめでとうございます。本年も、よ
ろしくおつきあいお願いいたします。

第3次報告も“盛り沢山”の提言

さて今回は、去る 12 月 25 日に発表された教育再
生会議の第 3 次報告「社会総がかりで教育再生を～
学校、家庭、地域、企業、団体、メディア、行政が
一体となって、全ての子供のために公教育を再生す
る～」を取り上げておきたい。

限られた紙幅であるので、全体的な概要紹介は省
略し、内容の核心部分について述べる。

第 3 次報告では、「7つの柱」として提言内容を
まとめている。それらは、見出しで言うと、(1)学
力の向上に徹底的に取り組む～未来を切り拓く学力
の育成～、(2)徳育と体育で、健全な子供を育てる
～子供たちに感動を与える教育を～、(3)大学・大
学院の抜本的な改革～世界トップレベルの大学・大
学院を作る～、(4)学校の責任体制の確立～頑張る
校長、教員を徹底的に応援する～、(5)現場の自主
性を活かすシステムの構築～情報を公開し、現場の
切磋琢磨を促し、努力する学校に報いる～、(6)社
会総がかりでの子供、若者、家庭への支援～青少年
を健全に育成する仕組みと環境を～、(7)教育再生
の着実な実行、である。

提言事項は、じつに広範多岐に及んでいる。(1)
～(6)の内容を読むと、なお一層その印象を強く
する。今回の報告は、「『6・3・3・4』制の弾
力化や『年齢主義(履修主義)』の見直し、英語教
育の抜本的な改革、『学校選択制と児童生徒数を勘
案した予算配分による学校改善システム』、子供、
若者、家庭への総合的な支援」等、「これまでの報

告においては十分取り上げることができなかった事
項について新たに提言」を行った内容であるのに加
えて、「学力向上、徳育、体育、大学・大学院改革、
学校や教育委員会の責任体制など、既にこれまでの
報告で示した方向性を更に具体化するための方策を
示して」いるものとなっていることが、そのような
印象を与える原因と思われる。

最終まとめて“提言事項の整理”を

ふり返ると、教育再生会議の第 1 次報告「社会総
がかりで教育再生を～公教育再生への第一歩～」が
公表されたのが平成 19 年 1 月 24 日、第 2 次報告「社
会総がかりで教育再生を～公教育再生に向けた更なる
一歩と『教育新時代』のための基盤の再構築～」の
公表が同年 6 月 1 日であった。

第 1 次および第 2 次報告については、安倍政権の
もとで提言内容も今後具体化されていく可能性が高
いとの大方の予想があったので、それなりの注目と
関心を集めた。しかし、7 月 29 日の第 21 回参議院
議員選挙で自民党が歴史的惨敗を喫し、さらには 9
月 12 日、安倍首相が突然の辞任表明という事態と
なり、国民の関心は教育改革よりも政治改革のゆく
えに注がれている。

そのような状況下での第 3 次報告については、マ
スコミの扱いも格段に小さなものとなっている。提
言内容がどの程度具体化されていくかも見通しが定
かではない。そうであるならば、今後、予定されて
いる最終まとめでは、これまでの網羅的な提言内容
を「公教育再生論」として、きちんと整理するこ
とを強く期待したい。内容的に吟味された深慮の教育
改革案であれば、政権が交代しても、今後活用され
ていく可能性が高くなる。

(わかい・やいち = 上越教育大学大学院教授・附属図書館長)

●好評発売中! ● 杉山正一・杉山愛子【共著】A 5 判 170 頁・定価 1,890 円 教育開発研究所

『校長の涙 卒業式における校長の式辞実例』

『「学力調査」対応法・活用法』 調査データの読み方／活用／保護者への説明
高階玲治【編】B5 判 272 頁・定価 2,500 円